

□□□ 令和7年度2学期終業式(12.23)の給食について □□□□□□□□□□□□

令和7年3月25日

【町給食運営委員会】

1 はじめに

修学旅行は、学校生活における忘れがたい思い出の筆頭にあげられます。大人になっても、修学旅行での自分や友人の言動は鮮やかに残っています。こうした思い出は、人生を豊かにするために、欠かすことができないものと考えます。

なぜ修学旅行が強烈な思い出として、心に残るのでしょうか？

いろいろ考えられますが、次のような理由があるからだと思います。

- ①級友と共通の体験をもつことができたこと
- ②学級・学年がひとつの目標にむかって努力できたこと
- ③みんなで共通の成功体験ができたこと
- ④・・・

こうした体験をすることで、子どもたちは大きく成長することができると考えます。

2 食育とは？

農林水産省：HP「食育は、生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付けられるとともに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てるもの」

文部科学省：HP ①食べ物を大事にする感謝の心
②好き嫌いしないで栄養バランスよく食べること
③食事のマナーなどの社会性
④食事の重要性や心身の健康
⑤安全や品質など食品を選択する能力
④地域の産物や歴史など食文化の理解など

要は・・・

「自分は多くの人々の愛情や努力に支えられて生きているんだ」ということを、
食べ物を通じて実感させる体験活動

3 2学期終業式給食にむけて

(1) 学校教育課では次年度、「給食を提供できる機会を増やす」事業を展開します(予算額 7,047,000 円)。

12月23日(火)は2学期の終業式です。この日にちょっと豪華な献立内容で給食を実施します。

ただ「食べて終わり」ではなく、いつまでも心に残る、そして一人ひとりの子どもの成長につながる活動を展開します。

(2) テーマ「2学期最後の日、全員で給食を食べよう！」

①健康で12月23日を迎えるために何をすべきか？

②学校にこれしていない友人のために何をすべきか？

③・・・

※単に12月23日を迎えるのではなく、テーマ実現に向けて、少なくとも1月前から生徒会・児童会等を中心とした、自主的な活動を展開させます。

(3) テーマ実現への具体的な取り組み

①2学期終業式の給食に込められた思いを、教育委員会が直接生徒会・児童会に伝える→1学期中に各校を訪問し伝える

②各校で考えた取り組みを紹介する（主体は教育委員会）→時期・方法は未定

③生徒会・児童会における自主的な活動とする→教師の指示は厳禁 子どもの教師への質問等はしてもよい

④地域の教育力導入の一例とする→詳細は後述

⑤働き方改革との関係

終業式当日の給食については教員はノータッチとする。終業式当日、各校では午後、重要な会議等があるのでその準備を最優先する。

町雇用の給食パートさんは当日出勤していただく。学校は12月22日までに「担任がいなくても配膳ができる力を育てておく」こと。

⑥ただし低学年等心配な場合、PTA やコミュニティー・議員さん等が給食から下校（付き添い）までサポートいただく。

(4) テーマ実現への取り組み例

①健康で12月23日を迎えるために → 結果重視ではなくテーマ実現までの過程で子どもは伸びる！

ア 病気にならない取り組みを展開する

イ 全校を対象とする体力向上の活動を展開する

ウ 健康な体をつくる栄養バランスをかんがえた食事に心がける

エ 健康を損なう活動の抑制を呼びかける

オ その他

②学校にこれしていない友人のために→ 結果重視ではなくテーマ実現までの過程で子どもは伸びる！

ア お手紙を書く

イ プレシャーにならない声かけをする

ウ 12月23日に豪華なメニューの給食があることを知らせる

エ その他

4 今後の予定

3月25日（火）学校給食委運営委員会で提案

4月 日（ ）町PTA連絡協議会で報告

1学期中 コミュニティー等関係機関に報告
各校の生徒会・児童会に趣旨説明

夏季休業～10月 各校で計画立案

10月 各校の取り組み内容紹介

11月 各校で実践

12月23日 学校給食実施

1月 各校で反省 等

教育長 庄子 亨